

令和元年度学校教育アンケートの報告

厳寒の候、保護者の皆様には日頃より本校教育活動にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。この度はお忙しい中、学校教育自己診断のためのアンケートにご協力いただきまして、誠にありがとうございました。アンケート結果を分析いたしましたので、ご報告いたします。

《アンケート結果について》

☆「よくあてはまる」と「おおむねあてはまる」の合計が70%以上になった項目

(生徒)

- 1 学校へ行くのが楽しい。(78%)
- 4 楽しみにしている(楽しかった)学校行事がある。(73%)
- 9 人権の大切さや社会のルールについて学んでいる。(76%)
- 17 相談できる友人がいる。(78%)

(保護者)

- 1 学校は教育方針をわかりやすく伝えている。(79%)
- 2 青中では「青中フェスティバル」など特色ある教育活動が行われている。(90%)
- 3 子どもは学校に行くことを楽しみにしている。(85%)
- 5 子どもは学校に良い友達がいると言っている。(90%)
- 6 子どもは積極的に部活動に参加している。(3年生は引退まで) (81%)
- 7 先生は子どもの間違った行動を厳しく指導してくれる。(76%)
- 9 先生は子どもの能力や努力を適切・公平に評価している。(72%)
- 10 学校は子どものことについて適切に相談に応じてくれる。(75%)
- 11 学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。(76%)
- 12 学校は人権を尊重する意識や社会のルールを守る態度を育てようとしている。(77%)
- 13 学校は生徒の安全や事故防止に配慮している。(84%)
- 14 学校は家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。(75%)
- 15 通知表は工夫されている。(72%)
- 16 学校では子どもに関する個人情報を守られている。(88%)
- 17 学校は保護者が行事や授業を参観する機会を設けている。(95%)
- 20 毎月配られる「学校だより」は必ず読む。(80%)
- 21 「学年だより(学年通信)」は必ず読む。(80%)
- 22 進路に関するプリントは必ず読む。(3年生のみ) (89%)
- 23 子どもの日常生活・行動は把握している。(92%)
- 24 必要なことは家族で話し合っている。(92%)

☆「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」が30%以上になった項目

(生徒)

- 7 授業や行事の取り組みで自分の考えをまとめたり、発表したりすることがある。(30%)
- 19 地域の行事などに参加している。(47%)
- 20 学校の施設・設備は必要なものが整っている。(31%)

(保護者)

- 4 子どもは授業がわかりやすいと言っている。(36%)
- 19 学校の設備・施設は学習環境面でほぼ満足できる。(40%)

※保護者の方からは、全ての設問において肯定的な割合が高い結果のご回答をいただきましたが、「施設・設備は学習環境面でほぼ満足できる」に関しては否定的なパーセンテージが例年高い傾向にありましたが、肯定的な割合は昨年度より+17%でした。今年度はトイレ改修工事、次年度は普通教室でのプロジェクターの一斉稼働、夏休みからは教室等の大規模改修の工事が予定されており、少しずつ生活環境が整ってきます。ご不便をおかけすることもあります。改修後を楽しみにしていただければと思います。学校生活の様子は積極的にホームページのブログ『日々の青中』を中心に積極的に配信してまいります。今後も楽しみにしていただければと思います。

※生徒アンケートでは、全体的に肯定的な回答割合が下がっている傾向でした。特に“悩みや相談に親身になって応じてくれる” “いじめや校内暴力など私たちが困っていることについて、よく対応してくれる”の設問は昨年度よりもこの傾向が強くなっています。また、“授業や行事等の取り組みで自分の考えをまとめたり、発表したりすることがある”の設問も同じ傾向にあります。授業・行事においては、グループ討論や班別での学習などの機会を取り入れ、生徒たちの困り感については「こころとからだの健康調査」を元に個別面談等の時間を設けてきました。何気ない学校生活での『生徒との会話』の部分で、もう少しゆとりを持った対応に努めていきたいと思います。

※保護者からの“子どもは授業がわかりやすいと言っている。”の項目については、『この授業で何を学ばせるか』を明確に伝えきれていない部分が課題と考えられます。一斉授業の中で生徒側の「わかる」に合わせた授業の展開と、「どのようにわからせるか」です。次年度より普通教室においてもプロジェクターが簡単に使える環境が整備されました。まずは生徒の『視覚』から入るアプローチで取り組んでいきたいと思います。“先生は子どもをよく理解している” “学校は保護者や地域の人たちと話をする機会を設けている”の項目においては昨年度より改善はしてきているが、他の項目と比較すると低い傾向です。生徒アンケートともリンクする結果でもあるので、学校生活における生徒観察、教職員側からの何気ないコミュニケーションをとって行こうと思います。話す機会は懇談や地域の集まり等で時間をとってまいりましたが、今年度よりホームページから皆さんの『ご意見等をお伺いする』システムを設けました。トップ画面から入れますので貴重なご意見を頂戴できればと思います。

※保護者・地域とのかかわりの部分においては、教職員が地域イベントへの参加やパトロール、保護者の皆様がクラブの応援等で顧問と接する際など、遠慮なくお声がけいただければと思います。

これらのアンケート結果を本校の教育活動を振り返る貴重な「声」として教職員一同より良い学校していくよう努めたいと思います。今後も、ご家庭・PTAの各委員会・学校評議員・地域の方々等と連携を深めつつ、学校改善に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。